

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園・学校番号	1239414
施設名（園名等）	大東文化大学附属青桐幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

砂

<テーマの設定理由>

藤棚の花・葉が、棚にたくさん広がり日影ができる涼しい当園の砂場環境を活かし、「砂」をテーマとし設定しました。砂場は子供たちが日常的に砂遊びをし、砂の感触、形の変化に興味を持っている姿が見られることから、砂の性質・特性・衛生・安全について、子供たちの興味関心をさらに深めます。

2. 活動スケジュール

■ 実施期間

令和7年6月～令和7年11月

■ 活動日程

令和7年6月 6日(金) 午前 事前準備(探究活動)

令和7年6月13日(金) 午前・午後 砂場保全体験・探究活動

令和7年10月31日(金) 午前 事前準備(探究活動)

令和7年11月7日(金) 午前・午後 砂場保全体験・探究活動

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

・事前準備探究活動

図鑑・タブレット・絵本・自由画帳

・砂場保全体験日

砂場の整備・清掃活動に向けて、シャベルやスコップ、紙芝居、iPad などを用意し、子どもが主体的に関わりたくなるよう環境をデザインした。

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、教諭との関わり等)

〈活動の内容〉

藤棚の下に広がる日陰の砂場環境を生かし、「砂」をテーマに砂の掘り起こしや清掃を行った。砂の感触や形の変化を確かめながら、おもちゃや枯れ葉を取り除き、砂の性質・衛生・安全について関心を深める活動とした。

〈活動中に見られた子どもの姿〉

砂の湿り具合や形の変わり方に気づき、友達と「こっちは固い」「ここはサラサラ」などと伝え合う姿が見られた。掘り起こしの中で見つけた物を共有しながら、「片付けよう」「きれいにしよう」と自発的に行動し、協力して砂場を整えようとする姿が多く見られた。

〈教諭との関わり〉

子どもが主体的に探究できるよう、シャベル・スコップなど必要な道具を準備し、砂に触れながら待てる環境を整えた。子どもの気づきや発言を受け止めつつ、対話が広がるよう最小限の声掛けて見守り、砂の性質や衛生への興味が深まるよう支援した。

・活動の様子が分かる写真





4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちは、砂の感触や見つけた物を友達と共有する中で自然に対話が生まれ、協働して活動を進める姿が見られた。環境を整えることで、順番を待つ時間も主体的に探究が続き、子ども自身の気づきや興味がより明確になった。また、記録を振り返ることで、「片付ける」「きれいにする」ことへの関心が高まっていることが分かり、次の探究につながる視点を得ることができた。保育者が必要なときだけ支える関わりを行うことで、主体性がさらに引き出されることを実感した。